

成人教育事業

本 館

子どもの人権講座	あなたは大切にされていますか？ ～私がわたしであるために～
-----------------	--

目 的 「子どもの人権」という観点から、子どもたちを取り巻く現代の様々な問題を取り上げる。子どもたちが他人を尊重し、互いに認め合う心を育てていくために、大人たちができることを考える。

日程・内容・講師

回	日程	内容	講師
①	6/2(木)	ヤングケアラーについて知り、地域でできることを考える	加藤 雅江（杏林大学教授）
②	6/4(土)	やり過ぎ教育から見えてくる子どもの育ちとは	神林 俊一（一般社団法人ジェイス理事）
③	6/11(木)	おうちでできる性教育、地域で考える性教育	岸本 祐子（保育士、産後ライフアドバイザー）
④	6/29(土)	不登校の時代背景と新型コロナ	田中 哲（児童精神科医師）
⑤	7/2(土)	子どもの居場所と子どもの権利—自分を取りもどすために	喜多 明人（早稲田大学名誉教授、小金井市子ども子育て会議委員）
⑥	7/2(土) 午後 12 時 10 分 ～午後 1 時 10 分	講座全体を振り返っておしゃべり・交流会	なし

⑥を除いていずれも午前 10 時から正午まで

場 所 公民館本館 学習室 B

募集方法 市報 5 月 1 日号、月刊こうみんかん 5 月号、ホームページ、ツイッター、チラシ（市立小中学校の全児童及び全生徒に配布）、ポスター
往復はがき、または E メールで申し込み

対 象 市内在住・在学・在勤の方

人 数 募集 各回 38 人（うち 8 人は別室で音声のみ聴講・多数抽選）
延べ参加者数 128 人

保 育 あり（保育の希望者（子ども）6 人、保育の実績（子ども）3 人）

担当企画実行委員 照井 耕之助、宗像 高子

本 館

市民アカデミー（春期）

目 的 価値観が多様化し個々人の生き方・考え方が尊重される現代社会では様々な分野の学びが求められています。市民アカデミーは、国内及び国際
の政治、経済、地域、社会、技術革新、芸術文化等々の今日的な課題を学
ぶことにより知識と教養を深め、日々の生活に活力を得ることを目的とし
ます。

日程・内容・講師 別紙「日程表」のとおり

場 所 公民館本館 学習室B

募集方法 市報5月15日号、月刊こうみんかん7月号、市HP、ポスター、チラ
シー Eメールまたは往復はがき（申込多数のときは抽選）

対 象 市内在住・在勤・在学の方

人 数 募集 30 人
応募 33 人
受講 31 人（男性 18 人、女性 13 人）
延べ参加者 148 人

担当企画実行委員 生馬一枝、岸川公一、照井耕之助、藤原美知江

担当職員 落合 兼二郎

担当職員感想 スケジュールが変更・中止となった回もあり、変則的な講座とな
ったが、受講者の方は、どなたも熱心に講義に向き合い、知識と教
養を深めていた。

参加者感想 ○ コロナ禍の中、有意義に出席させていただきました。
○ タイムリーな講義でした。孫の代をつくづく考えさせられました
○ 大変解り易く大いに興味をもって拝聴できました。
○ 今年度の「市民アカデミー」はとても良かったです。ありがとう
ございました。

別紙「日程表」

回	日程		テーマ	講 師
1	6/15 (水)	政治 経済	ウクライナ紛争は日本 に何をもたらすか	東京外国語大学名誉教授 中澤 英彦 さん
2	6/22 (水)	社会	高齢者増と少子化でZ 世代は耐えられるか	東京学芸大学教育学部社会科学講座教授 浅野 智彦 さん
3	12/2 (金)	歴史 文化	学芸の森を歩く	東京学芸大学理科教員高度支援センター 特任教授 真山 茂樹 さん
	6/29当日熱中症危険アラートのため急遽延期とし、秋期講座と期日を併せて実施した。			
4	7/6 (水)	健康	ウィズコロナ時代の生活	小金井市福祉保健部健康課長 石原 弘一 さん
5	7/13 (水)	環境	バイオエコノミーイノベーション	東京農工大学農学研究院生物生産科学部門教授 大川 泰一郎 さん
6	7/20 (水)	地域	身近なゼロカーボンー 小金井市気候非常事態 宣言ー	小金井市環境部環境政策課環境係長 高野 修平 さん
7	7/27 (水)	国際	国際情勢の変化と日本 の外交政策	元外務省全権大使・外交官 松井 啓 さん

全7回、時間は午前10時～正午（初回6/15は午前9時50分開始）

本 館

市民アカデミー（秋期）

目 的 価値観が多様化し個々人の生き方・考え方が尊重される現代社会では様々な分野の学びが求められています。市民アカデミーは、国内及び国際
の政治、経済、地域、社会、技術革新、芸術文化等々の今日的な課題を学
ぶことにより知識と教養を深め、日々の生活に活力を得ることを目的とし
ます。

日程・内容・講師 別紙「日程表」のとおり

場 所 公民館本館 学習室B

募集方法 市報9月15日号、月刊こうみんかん9月号、市HP、ポスター、チラ
シー Eメールまたは往復はがき（申込多数のときは抽選）

対 象 市内在住・在勤・在学の方

人 数 募集 30人
応募 24人
受講 24人（男性15人、女性9人）
延べ参加者 154人

担当企画実行委員 近江淳、大木健至、菅沼七三雄、照井耕之助、藤原美知江

担当職員 落合 兼二郎

担当職員感想 受講者の方は、どなたも熱心に講義に向き合い、知識と教養を深
めていた。

別紙「日程表」

回	日程		テーマ	講 師
1	10/22 (土)	国際	国際情勢の変化と日本の外交政策	元外務省全権大使・外交官 松井 啓 さん
2	10/29 (土)	政治 経済	ウクライナ紛争は日本に何をもたらすか	東京外国語大学名誉教授 中澤 英彦 さん
3	11/5 (土)	社会	高齢者増と少子化でZ世代は耐えられるか	東京学芸大学教育学部社会科学講座教授 浅野 智彦 さん
4	11/12 (土)	歴史 文化	学芸の森を歩く	東京学芸大学理科教員高度支援センター 特任教授 真山 茂樹 さん
5	11/19 (土)	健康	ウィズコロナ時代の生活	小金井市福祉保健部健康課長 石原 弘一 さん
6	12/3 (土)	環境	バイオエコノミーイノベーション	東京農工大学農学研究院生物生産科学部門教授 大川 泰一郎 さん
7	12/10 (土)	地域	身近なゼロカーボンー 小金井市気候非常事態 宣言ー	小金井市環境部環境政策課環境係長 高野 修平 さん
	15：30～16：30 講座全般をふりかえって			

全7回、時間は午後2時～午後4時（初回10/22は午後1時50分開始）

本 館

市民講座	気象災害って、ナニ？－気象予報士山神明理さんと考えるマイ・タイムライン－
------	--------------------------------------

目 的 気象災害とは、大雨・強風・乾燥・雷などの気象現象によって発生する災害。その時、家族は？私はどうすればよいのか？
気象予報士山神明理さんと、小金井市のハザードマップをもとに気象災害を学び、一人ひとりがいざという時の避難行動を決めておく「マイ・タイムライン」を作成します

日 程 令和4年4月21日（木）・28日（木）全2回
午後7時から午後9時

内 容 大雨・強風・乾燥・雷などの気象現象によって発生する災害の理解、小金井市のハザードマップをもとに気象災害を学び、「マイ・タイムライン」を作成

講 師 山神 明理さん（気象予報士）

場 所 公民館本館 学習室B

募集方法 市報3月15日号、月刊こうみんかん3月号、チラシ、ポスター、HP、ツイッター、Eメールまたは往復はがき、申込入力フォーム（申込多数の場合、抽選）

対 象 市内在住、在勤、在学の方

人 数 募集 30人
応募 76人
受講 30人

保 育 あり（応募なし）

担当企画実行委員 照井 耕之助、武藤 美奈子

担当職員 落合 兼二郎

本 館

市民講座	身近な人間関係を考える
------	-------------

目 的 日々の生活に直接関係する地域社会でのコミュニケーションの在り方を考えることを目的とする。

日 程 令和4年7月2日（土）午後2時から4時まで

内 容 地域社会に必要なコミュニケーションの在り方の講義とワーク演習

講 師 柴田 悦子さん（NPO法人ウィメンズ・サポート・オフィス 連代表理事）

募集方法 市報6月1日号、月刊こうみんかん6月号、市HP、チラシ、ツイッター
6月17日（必着）、往復はがきに住所、氏名（ふりがな）、年齢、
電話番号を明記し、公民館本館「身近な人間関係を考える」係まで

人 数 募 集 20人（多数抽選） 応 募 10人
受 講 10人（男性4人、女性6人）

担当企画実行委員 岸川 公一、宗像 高子

担当職員 金子 康幸

担当者感想 申込が思っていた以上に少なかったのは残念でしたが、受講者がアサーティブという言葉に関心をもってもらえたことが何よりでした。

参加者感想 ○ありがとうございました。アサーティブといった言葉は聞いたこともあり、目指したい姿だなと思っていました。詳しく聞くことができてよかったです。先生のご経験や具体的場面が頭に入ってきて、ふだんの生活に生かせそうだなという思いがわきました。

○よりよいコミュニケーションのとり方のベースを学ぶことができました。対人関係は、その相手との距離によっても変化していきます。なかなか理論通りにはいかないですがこれも学習ですね。

○コロナを機に自分を見直さなくてはいけないことに直面し、他人軸で生きることから離れるよう努力している最中だったので、アサーティブという考えはとても参考になりました。

ありがとうございました。

○アサーティブの基本的な権利12コを知ることができてよかったです。アサーティブについて、もっと知りたいと思いました。

本 館

市民講座	親子で考えるお金のしくみ
------	--------------

目 的 現代の子どもたちが、お金の大切さや役割を学び、正しい金銭感覚を身につけるとともに、各家庭でコミュニケーションを取りながらおこづかいのルールづくりをすることを目的とする。

日 程 令和4年8月6日（土）午前10時から正午まで

場 所 公民館本館学習室B

対 象 市内在住、在学の小学生とその保護者

内 容 お金を何に使ったか、親と子で振り返りをしておこづかいのルールづくりを作成し、お金の大切さを知る。

講 師 田端 沙織さん（キッズ・マネー・ステーション認定講師）

募集方法 市報7月1日号、月刊こうみんかん7月号、市HP、チラシ、ツイッター7月20日（必着）、往復はがきに住所、お子様の氏名（学年、ふりがな）と保護者氏名（ふりがな）年代、電話番号を明記し、公民館本館「親子で考えるお金しくみ」係

人 数 募 集 10組20人（多数抽選） 応 募 8人
受 講 4組 9人（男性1人、女性8人）当日に小学生が1人参加

担当企画実行委員 照井 耕之助、近江 淳

担当職員 金子 康幸

担当者感想 申込者が少ない状況ではありましたが子どもたちは、お金の大切さについて、興味深く聞いている姿がとても印象的でした。

参加者感想 (子ども) ○むかしのおかねはどうだったか。お金の大切さがよく分かりました。もっとお金のことがしりたい。

○お金の歴史にもふれ合えたので、よかったです。

(保護者) ○このような子ども向け講座をたくさんやってほしいです。

もっと告知すれば、参加者も増えると思います。

○お金について、親子で考える機会はほとんどないうえ、私自身がお金にルーズなタイプですので、今回のこの時間は反省や考え直す良い機会となりました。

本 館

市民講座	親子でつくるおりがみリース講座
------	-----------------

目 的 おりがみを使って。色鮮やかなリースをつくり親子の交流を深めることを目的とする。

日 時 令和4年12月4日(日)午前10時～正午

講 師 渡辺 由美子さん(クラフト脳トレーナー)

募集方法 令和4年11月17日(必着)までに、往復はがきまたはEメール(1家族1通)に住所、お子様の氏名(学年)、保護者氏名、年代、電話番号を明記し、公民館本館「親子でつくるおりがみリース講座」係(住所〒184-0004小金井市本町2-15-11または、メールアドレス:k020499@koganei-shi.jp)

対 象 市内在住、在学の小学生とその保護者

人 数 募集11組22人 応募16組32人 受講10組20人
(男性3人、女性17人、そのほか0人)

参 加 費 無 料

企画実行委員 大木 健至

担当職員 金子 康幸

担当者感想 講師に指導してもらいながら、親子でおりがみを折る姿がとても印象的で、作品も様々な色合いのリースができていました。
また、機会があれば、親子での講座を継続できればと思っています。

参加者感想

- (保護者) 親子で楽しい時間になりました。ありがとうございます。
- (保護者) 進行ペースも丁度よく親子で楽しめました。ありがとうございました。
- (保護者) 子どもと楽しく時間を過ごせました。家でも作ってみます。
- (保護者) 楽しいおり紙教室でした。うまく折るコツやかわいく見えるコツをおしえていただき勉強になりました。
- (子ども) おしえ方もうまくて楽しくできてうれしかったです。家でもできたらいいなと思いました。また、こういうきかいに参加してみたいと思いました。ありがとうございました。
- (子ども) 家でおりがみクリスマスリースをします。
- (子ども) こんなにむずかしいそうなおりがみリースがこんなにたのしくつくれて、たのしかったです。

本 館

市民講座

短時間でパパっときれいに！家事効率化のための片付け講座

目 的 実生活に役立つ効率化な片付け方や家族のライフプランの立て方を学び、さらに充実した生活を送ってもらうことを目的とする。

日 時 令和5年2月25日(土)午前10時～正午

講 師 飯塚 優子さん(整理収納アドバイザー)

募集方法 令和5年2月10日(必着)までに、往復はがき(1人1枚)またはEメール(1人1通)に住所・氏名(ふりがな)年代・保育有無(お子様の名前・年齢)・電話番号を明記し、公民館本館「短い時間でパパっときれいに！家事効率化のための片付け講座」係(〒184-0004小金井市本町2-15-11/メールアドレス k020499@koganei-shi.jp)

対 象 市内在住・在勤・在学の方

人 数 募集25人 応募33人 受講24人
(男性2人、女性21人、そのほか1人)

参 加 費 無 料

企画実行委員 藤原 美知江

担当職員 金子 康幸

担当者感想 今回の片付け講座は、幅広い世代30代から70代の参加者があった。圧倒的に女性の申込が多かったが、参加者の皆様は熱心に受講している姿が印象的でした。

また、参加者からも今後保育つきの講座を継続して欲しいとの声があった。

参加者感想

- 具体的な説明で大変参考になりました。出席できて良かったと思います。
- 書き込みができるように先生のパワーポイントが書かれた用紙が欲しかった。
- 知っていることでも、あらためて講座で耳から聞くとやる気がでてきて刺激となった。家に帰ったら、早速少しずつ取り組みたい。
- 排水口の便利グッズの紹介が良かったです。

貫井南分館

市民講座	「夏休み直前 家族で考えてみよう 親子アンガーマネジメント講座」
------	-------------------------------------

目 的 自分の怒り方を見直し、対処法を学び夏休みを楽しく過ごすコツや怒り方のルールを家族で考えてみる。

日 程 令和4年7月2日（土）午前10時～正午

内 容 【怒りの機能】、【私たちが怒らせるものの正体】など具体的な講話、最近会った怒りの自己診断

講 師 安藤 生奈さん（アンガーマネジメントコンサルタント）

場 所 公民館貫井南分館 学習室A・B

参加費 200円（資料費）

募集方法 市報6月15日号、月刊こうみんかん6月号、チラシ、ポスター、市HP、ツイッター

先着順、電話または直接貫井南分館窓口まで

対 象 市内在住・在勤・在学の親子（大人のみの参加可）

人 数 募集 30人 応募15人（男性7人、女性8人）

受講 11人（男性5人、女性6人） 参加率36%

参加年代 40代 6人 幼稚園 1人 小2 3人 小3 1人、

担当企画実行委員 高橋 陽子、齊藤 美恵子

担当職員 永嶋 汐美

担当職員感想 アンガーマネジメントに初めて触れる参加者が大半であった。

講座前半の授業参観方式で子どもワークでは、全員に目が行き届いて子どもの自由な意見を聞くことができていた。講座後半では、部屋を仕切り大人と子どもに分かれて行いどちらも集中して講座に取り組んでいるように見受けられた。

参加者感想 ○日々の怒りについて、ゆっくり考える機会となり、大変勉強になりました。自分の怒りも問題でしたが、子ども自身の怒りの気持ちには、より寄り添ってみたいと思います。入門講座も、今後検討してみたいです。

○自身や家族の怒り方を見直し、上手な怒り方をできるように、アンガーマネジメントを今後も意識して生活していきたいと思いました。ありがとうございました。

○とても参考になる講座でした。生活に寄り添う講座の提案はとてもありがたいです。今後ともよろしくお願いします。

○とてもいい講座でした。広めたいです、定期開催してもよいのでは。

貫井南分館

市民講座	「親子で社会科見学～笛木醤油と川越市立博物館～」
------	--------------------------

目 的 親子のコミュニケーションを図るとともに、夏休みの自由研究にも役立ててもらおう。

日 時 8月24日（水）午前8時30分から午後5時まで

場 所 笛木醤油 金笛しょうゆパーク
埼玉県比企郡川島町上伊草660
川越市立博物館
川越市郭町2-30-1



募集方法 市報7月15日号、月刊こうみんかん7月号、ホームページ、チラシ、ポスター、ツイッター

対 象 市内在住、在学の小学生と保護者
(小学生のみの応募は不可。保護者同伴。)

人 数 等 募集 12人（多数抽選） 応募 25人 当選者 12人
(男性4人、女性8人)

担当企画実行委員 高橋 陽子

担当職員 伊藤 修

担当職員感想 募集人数に対し2倍の応募があり、関心の高さがうかがえた。参加者同士の交流もあり、コロナ禍での社会科見学ではあったが、楽しんでいたようなので、一定の成果はあったと思う。

参加者感想 ○親子で社会科見学という貴重な機会を頂き、ありがとうございました。普段は下の子に手がかってしまうので、上の子と二人で参加出来て、それも小学生にふさわしい学びの場に行く事ができて、とても有意義でした。このような企画がありましたら、ぜひまた参加したいと思います。ありがとうございました。

○色々なものを経験できてよかったです。待つ時間が長くゆったりとしていて、自由に活動できて楽しかったです。

貫井南分館

市民講座

男のための掃除道入門 —お掃除への最初の一步

目 的 掃除道を学ぶことで、実践する喜びを感じ、日常の生活を豊かにする心のゆとりを作り出す。

とき・ところ・内容

10月8日（土）午前10時～正午

公民館貫井南分館

「掃除とは」、「掃除の定義」、「掃除の効果」などの話しとブロックを使ったワークで掃除のコツを掴む。



講 師 白坂 裕子さん（一般社団法人日本そうじ協会・掃除道認定講師）

募集方法 市報9月15日号 月刊こうみんかん9月号、ホームページ、ポスター、チラシ、ツイッター

応募・受講者人数等

募集人数 20人（申込順） 応募人数 13人

受講生 11人（男性7人、女性4人） 受講率85%

参加年代 50代1人、60代5人、70代4人、80代1人

担当企画実行委員 金ヶ江博紀 **担当職員** 松本 浩明

職員感想

掃除をしてみようというきっかけ作りのお話からブロックを使ったワークで掃除の事前準備の大切さなど、掃除へ仕向ける気持ちの持ち方へアプローチするところは参加者も共感していたようである。また、講師への質問も相次ぎ、対話型の講座となつてとても有意義であった。

参加者感想

- 掃除の精神論の内容が、特に印象になりました。入門編でしたが、まず、スタート段階で、やる気を促していただいたことが嬉しく思いました。
- 参考になりました。ユニークで面白かった。
- 掃除に対する教え方が変わりました。楽しく掃除したい。
- 掃除をしようというきっかけになったので良かった。
- 掃除は闇を払う。郵便物は空中戦で！部屋の写真を撮ってみる。ホコリは正直等々、有意義な話を聞けて良かったです。

貫井南分館

市民講座	「怒る人も怒れない人にも役立つ 大人のアンガーマネジメント講座」
------	-------------------------------------

目 的 人の感情として無くすことは出来ない“怒り自分の怒り方を見直し、普段のコミュニケーションに役立てる。

日 程 令和4年11月16日（水）午前10時～正午

内 容 【怒りの機能】、【私たちが怒らせるものの正体】など“怒りのメカニズム”について学び、最近自分が怒ったことを例として分析・対処法を考える

講 師 安藤 生奈さん（アンガーマネジメントコンサルタント）

場 所 公民館貫井南分館 学習室A・B

参加費 無料

募集方法 市報10月15日号、月刊こうみんかん10月号、チラシ、ポスター、市HP、ツイッター

先着順、電話、Eメールまたは直接貫井南分館窓口まで。

対 象 市内在住・在勤・在学の方

人 数 募集 20人 応募21人（男性3人、女性18人）

受講 18人（男性3人、女性15人） 参加率90%

参加年代 30代3人、40代3人、50代6人、60代4人、70代3人

担当企画実行委員 高橋 陽子、斎藤 美恵子

担当職員 永嶋 汐美

担当職員感想 夏休み前に開催した子ども向け講座から、大人向けの講座を開催したところ、高齢の方から子育て世代まで幅広い年代に興味をもってもらうことができた。

年代関係なく、自分の怒りの根底が何かという気づきと今日から怒り方を変えていくことができるきっかけの一步を講師から学んでいた。

講座終了後も講師の話を熱心に聞く様子から、コミュニケーションに悩み、心理的な学びを切実に必要としている人が多くいることを感じた。

参加者感想

・具体的にわかりやすい講義をしてくださり良かったです。参考になりました

・思った以上に勉強になる内容でした。できれば夫婦で参加したいと思いました。夫もアンガーマネジメントに興味はありますが、なかなか時間が取れず、子育てで悩みが多く役立つ考えが得られたと思います。

・怒りについて知れたので本当に良かったです。助かりました。ありがとうございました。

・とても分かりやすい講座でした。アンガーマネジメントについて更に学ぼうと思います。



貫井南分館

市民講座

山本有三を知る

目 的 小金井市近隣の作家の人となりや作品、山本有三記念館などを紹介することで文学への興味、本への愛着を持ってもらう。

とき・ところ・内容

- 1 1月17日（木）「作家・山本有三と三鷹の家の来歴」
〃 24日（木）「三鷹時代の山本有三ー作家及び文化人としての活躍ー」
いずれも午前10時から正午まで、公民館貫井南分館学習室A Bで。

講 師 三浦 穂高さん（三鷹市山本有三記念館学芸員）

募集方法 市報11月1日号 月刊こうみんかん11月号、ホームページ、ポスター、チラシ、ツイッター

応募・受講者人数等

募集人数 20人（申込順） 応募人数 12人
受講生 11人（男性8人、女性3人） 受講率91%
参加年代 60代3人、70代6人、80代1人、90代1人

担当企画実行委員 金ヶ江博紀

担当職員 松本 浩明

職員感想

作家・戯曲家としてだけでなく、国語教育のために尽くしたことなど精力的に活動していたことのほか、以外にも東京大阪朝日新聞に連載した「女の一生」の挿絵が中村研一、三鷹の家を紹介したのが小金井の恩田など意外なところで小金井も絡んでいることを知ることができ有意義な講座でした。

参加者感想

- 作家と建物、両面にわたって分かり易いお話しで、とても興味深く聞くことができました。有三が生きた時代、建物が流転した時代の様子も分かり厚みのある内容だった。
- 三鷹の邸についてだけでなく、作品数点についても詳しく話して頂き、大変満足でした。また、人物像にも迫り、興味の湧くものでした。
- 山本有三と言えば「路傍の石」くらいしか知らなかったが、この講座を聞いて、色々なことが分かりました。三鷹市山本有三記念館へ行ってみたいと思います。
- 大変詳しく説明されて本当に楽しい講座でした。

貫井南分館

市民講座	「私の、家族の、高齢期への備え “成年後見制度”を学ぶ」
------	---------------------------------

目 的 成年後見制度の仕組みや利用する際のメリットとデメリットを理解し、自分や家族に必要な時に考えられるように備える

日 程 令和5年2月17日（金）午前10時～正午

内 容 法定後見制度、任意後見制度、2通りの成年後見制度の内容と仕組み、後見制度を申請する行程などを学ぶ

講 師 久保 晶子さん（行政書士）

場 所 公民館貫井南分館 学習室A・B

参加費 無料

募集方法 市報1月15日号、月刊こうみんかん1月号、チラシ、ポスター、市HP、ツイッター

先着順、電話、Eメールまたは直接貫井南分館窓口まで。

対 象 市内在住・在勤・在学の方

人 数 募集 20人 応募20人（男性10人、女性10人）

受講 16人（男性8人、女性8人） 参加率%

参加年代 30代1人、40代1人、50代1人、60代6人、70代3人、

80代3人、未記入1人

担当企画実行委員 阿部 光子、高橋 陽子

担当職員 永嶋 汐美

担当職員感想 幅広い年齢層の参加があった。成年後見制度について、熱心に講義を聞き質疑応答にも様々な質問があがり、実りのある座学講座となった。
市内で実績のある仕事を行っている講師から話を聞き、市内で相談する経路についても明確に考えることができたようであった。

参加者感想

- ・ 質問をしっかりと受けてもらい良かった。説明も分かりやすく勉強になりました。ありがとうございます。
- ・ 作成された資料、話し方、時間配分いずれも良好だと感じた。小金井市に関係ある講師という点も良かった。
- ・ 成年後見人についてのことが、講座を受講して少し理解できました。また今後もこのような種目の講座を期待したいと思います。本日は有難うございました。
- ・ 講師の久保さんの説明がわかりやすく、杓子定規な感じがない人柄に好感が持てました。

東 分 館

市民講座	トレッキング入門 －安全な歩き方などの基礎学習から実践まで－
------	-----------------------------------

目 的 本格的な登山ではなく、トレッキング入門講座として基礎学習を踏まえ、実際に近郊の低山に出向き実践します。

日程・内容・講師

回	日 時	内 容	講 師
1	9/8 (木) 午後2時～4時	座学 トレッキング入門～基礎知識を学ぶ～	トレッキング 愛好家 森 美樹さん ^{よしき}
2	9/29 (木) 午前8時～午後5時	野外研修 都民の森（檜原村）往復マイクロバス使用（行程）森林館～三頭の大滝～野鳥観察小屋～かおりの路～森林館	

※第2回は当初9月22日でしたが、雨天予報のため29日に順延しました。

場 所 公民館東分館 集会室A・Bほか

募集方法 市報8月1日号、月刊こうみんかん8月号、チラシ、ポスター、市HP、東センターHP、東分館ツイッター、往復はがき（多数抽選）

対 象 市内在住・在勤・在学で山道を3時間程度歩ける方

人 数 募集 8人 応募 31人
受講 8人（男性3人、女性5人）
延べ参加者 15人



担当企画実行委員 山木 耕太郎、渡部 靖

担当職員 鈴木 浩一

担当職員感想 コロナ禍において出かける機会が制限されることなどから、この企画となりました。街歩きとは違い参加の皆さまは、トレッキングの難度や服装、用具など心配されていましたが、野外日は好天にも恵まれ、無事全員が最後まで学びながら歩くことができ良かったと思いました。

参加者感想

- トレッキングの素晴らしさと厳しさを同時に味わえました。歩き方のコツ、注意点勉強になりました。感謝です。
- 山登りの持物等の説明会もしてくださり、野外もご指導いただきトレッキングがとても良かったです。
- 最高の山歩きを体験できました。準備のほうが大変だったでしょう。運営の方に感謝です。また参加したいです！！ありがとうございました。

東 分 館

市民講座	東京国立博物館の 150 年ー過去からの贈りものを未来へー
------	-------------------------------

目 的 令和 4 年に創立 150 年を迎えた東京国立博物館は、日本でもっとも伝統ある博物館です。設立からの歴史を学び、文化財の保護と継承の大切さを改めて知ることを目的とします。

日程・内容・講師

回	日程	内 容	講 師
1	10/25	トーハク 150 年の歴史とコレクション	佐藤 寛介さん（東京国立博物館学芸研究部列品管理課登録室室長）
2	11/8	未来へつなぐ、保存と修理の現場	和田 浩さん（東京国立博物館学芸研究部保存修復課長）

※いずれも火曜日、午前10時から正午まで

場 所 公民館東分館 集会室 A・B

募集方法 市報 9 月 15 日号、月刊こうみんかん 9 月号、チラシ、ポスター、市 HP、東センター HP、東分館ツイッター
多数抽選、E メールまたは往復はがき

対 象 市内在住・在勤・在学の方

人 数 募集 24 人 応募 38 人
受講 38 人（男性 13 人、女性 25 人）
延べ参加者 66 人

担当企画実行委員 渡部 靖

担当職員 浅香 佳代子

担当者感想 新型コロナの感染状況が落ち着いた状況を鑑みて、定員を拡大しました。博物館の節目の年を機に、国民の宝である文化財について専門家の方から貴重なお話を聞き、未来へ継承していくことの大切さを学ぶことができました。

参加者感想 ○今までと鑑賞する視点が異なり変わりました。東京国立博物館の専門家お二人の文化財に対する熱量に圧倒された二日間でした。
○普段、博物館、美術館を鑑賞するだけでしたが、この 2 回の講座を受けて文化財を見せること、保存、修理の大切さ、困難さを知ることが出来ました。このような大変なご苦勞をも含めて文化財を鑑賞していきたいと思えます。
○高度なお話を、思った以上に分かりやすく教えてくださってありがとうございます。

東 分 館

市民講座	日本てくてく しめかざり探訪ー土地の恵みと祈りのかたちー
------	------------------------------

目 的 日本では古くから、民間信仰が根付いています。なかでも最も大切な行事とされる正月は多種多様な風習があり、習わしは土地により大きく異なります。年神様をお迎えするための目印である「しめかざり」をテーマに、日本人特有のものと自然を大切にする素朴な信仰心や、地域ごとの特色について学習します。

日 程 11月16日（水） 午前10時から正午まで

講 師 森 須磨子さん（しめかざり研究家・グラフィックデザイナー）

募集方法 市報10月15日号、月刊こうみんかん10月号、チラシ、ポスター、市HP、東センターHP、東分館ツイッター
申込順 電話または直接

対 象 市内在住・在勤・在学の方

人 数 募集 25人 応募 31人
受講 26人（男性6人、女性20人）

担当企画実行委員 角田 麻美、渡辺 靖

担当職員 浅香 佳代子

担当者感想 新型コロナの感染状況が落ち着いた状況を鑑みて、定員を拡大しました。しめかざりを通して日本各地の風土、風習を知ること、改めて小金井の習俗に興味を持つ機会になりました。幅広い年齢層の方が集まり、参加者同士の会話が自然に生まれたことも大きな収穫でした。

参加者感想

- しめかざりと輪かざりを飾る意味を知り、しめかざりの大きい力を今年から心にとめて新年を迎えたいと思います。
- 初めて見るものがたくさんあって本当に楽しかったです。輪かざりを10個ほど作って、飾りたいと思います。スライドもとても素敵で、目のお正月でした。ありがとうございました。
- 興味が同じ方たちと時を過ごすことは楽しいです。先生の「しめかざり」への愛、情熱を感じます。私も少しずつ探訪をはじめてみたくなりました。
- しめかざりの種類や、地方の特色のあるしめかざりを解説していただき大変勉強になりました。
- 転勤族で住む所、住む所、お正月のしめかざりが違うことがずっと気になっていました。知らないことも多く楽しかったです。

東 分 館

市民講座	車いす体験と、「だれでもトイレ報告書」から考える共生社会
------	------------------------------

目 的 東京 2020 オリンピック・パラリンピック競技大会の開催により、都市インフラのバリアフリー化が進み、障害を抱える方や高齢者にとって暮らしやすい「バリアフリー社会」の構築への期待が、増々高まりを見せています。その一方で、世界でも有数の超高齢社会である日本では、今後も車いすを必要とする人口は増え続けると考えられており、車いす利用者にとって外出先でのトイレ利用は、尊厳に関わる深刻な問題であると言われています。車いす体験と、小金井市のだれでもトイレの現状などについて学習する機会を提供することを通して、共生社会への関心を高めることを目的とします。

日程・内容・講師

回	日 時	内 容	講 師
1	1/20	車いす体験から考えるバリアフリー社会～介助する側と、される側への理解～	山崎 舞佳さん（公益財団法人日本ケアフィット共育機構）
2	1/27	「だれでもトイレ報告書」から始まる、市民協働の取り組み	加賀谷 公一さん（NPO法人シニアSOHO小金井 元理事）

※いずれも金曜日、午後2時から4時まで

場 所 公民館東分館 集会室A・B

募集方法 市報12月15日号、月刊こうみんかん12月号、チラシ、ポスター、市HP、東センターHP、東分館ツイッター
申込順、メール、電話または直接

対 象 市内在住・在勤・在学の方

人 数 募集 12人 応募 12人
受講 12人（男性19人、女性3人）
延べ参加者 20人

担当企画実行委員 舟川 宜仁

担当職員 倉本 恵子

担当職員感想 車いす体験を行い、困難を抱える方々の大変さを、自分事として捉えていただけたのではないかと感じました。参加者同士での意見交換も活発に行われる等、共生社会への関心を高める講座となりました。

参加者感想 ○報告書は、良く出来ているのでこれを参考にして現在の状況を再度確認してより使いやすいトイレをまとめていく必要があります。

東 分 館

市民講座	鬼とは何者かー節分に見る日本の民間信仰ー
------	----------------------

- 目 的** 日本では古くから、宗教とは別に生活の中で伝えられている民間信仰が根付いています。「鬼」はあるときは恐ろしいものであり、またあるときはユーモラスな魔除けとして、信仰の対象にもなっています。節分の儀式をひとつの例として、日本の社会において「鬼」とはいかなる役割をはたしているか、民俗学的な視点から学習します。
- 日 程** 1月28日（土） 午前10時から正午まで
- 内 容** 古代からの文献や全国各地の神事を例に、日本人にとって「鬼」とはどのような存在であるのかを考察しました。
- 講 師** 久保田 裕道さん(国立文化財機構東京文化財研究所無形民俗文化財研究室長)
- 場 所** 公民館東分館 学習室A・B
- 募集方法** 市報12月15日号、月刊こうみんかん1月号、チラシ、ポスター、市HP、東センターHP、東分館ツイッター
多数抽選、Eメールまたは往復はがき
- 対 象** 市内在住・在勤・在学の方
- 人 数** 募集 24人 応募 25人
受講 22人（男性15人、女性7人）
- 担当企画実行委員** 渡部 靖
- 担当職員** 浅香 佳代子
- 担当者感想** 節分の直前に開催したこともあり、東京近郊の節分会の情報など役立つ情報も届けられ、終始活気のある講座となりました。
- 参加者感想** ○時代を追っての鬼の変化がよくわかりました。神社の行事や、民間のお祭りとしての鬼の行事が整理されて分かりやすかったです。
○興味深い内容でした。2、3回に分けて聞きたかったと思います。日本古来の伝統行事をもっと知り、大切にしていきたいと思いました。
○話しかれないとおっしゃっていたので、続きも聞きたい。今後、日本の季節の行事、祭事の由来、ルーツなどの講座も開いてほしい。
○初めて公民館の講座に参加させていただきましたが、とても楽しく興味深いものでした。これからもまた気になる講座には参加したいと思います。

東 分 館

市民講座	2050 年 脱炭素社会への取り組み ー日本のエネルギーはどう変わっていくのかー
------	---

目 的 2050 年までに二酸化炭素排出実質ゼロを達成するために、化石燃料から再生可能エネルギーへの変換は、課題解決の核となっており、世界各国のエネルギーへの取り組みや、日本の現状を知ること、ひとりひとりの地球環境への意識を高めることを目的とします。

日程・内容

回	日程	内 容
1	2/25	次世代エネルギーの現状と見通し～世界と日本の動向を知る～
2	3/4	CO ₂ フリー水素の未来～実証実験から見えてくるもの～

※いずれも土曜日、午後 2 時から 4 時まで

講 師 今村 雅人さん（環境エネルギーライター）

場 所 公民館東分館 学習室 A・B

募集方法 市報 1 月 15 日号、月刊こうみんかん 2 月号、チラシ、ポスター、市HP、東センターHP、東分館ツイッター
申込順 電話、メールまたは直接

対 象 市内在住・在勤・在学の方

人 数 募集 24 人 応募 20 人
受講 16 人（男性 12 人、女性 4 人） 述べ参加 27 人

担当企画実行委員 角田 麻美

担当職員 浅香 佳代子

担当者感想 エネルギーの課題は環境や経済をまたぐ大きなテーマですが、平易で簡潔な解説により、理解を深めることが出来ました。

参加者感想 ○水素を発電エネルギーとして使用する方法に将来性があることが、よく分かりました。
○エネルギーの問題を様々な資料を示して非常に分かり易く説明していただきました。講師の先生に感謝します。
○難しいと思っていましたが、先生がとても丁寧に説明してくださったので参加して良かったです。

東 分 館

市民講座	英国の世界遺産を学ぶ
------	------------

目 的 世界遺産とは、ユネスコに登録されている顕著な普遍的価値のある自然や文化をいいますが、今回、新時代を迎えたともいえる英国にスポットをあて、同国の世界遺産の中から選択し、その魅力、見どころ、歴史的背景等を学びます。

日程・内容

回	日 程	テーマ・内容
1	3/2 (木) 午後2時～4時	・ 世界遺産の基礎知識 ・ 英国の歴史概観 ・ 英国各地の世界遺産
2	3/16 (木) 午後2時～4時	・ 英国の世界遺産 (宗教改革と英国国教会)

講 師 目黒 正武さん (世界遺産アカデミー客員研究員)

場 所 公民館東分館 集会室A・B

募集方法 市報2月1日号、月刊こうみんかん2月号、チラシ、ポスター、市HP、東センターHP、東分館ツイッター、往復はがき (多数抽選)

対 象 市内在住・在勤・在学の方

人 数 募集 24人 応募 35人
受講 22人 (男性7人、女性15人) 延べ参加者 39人

担当企画実行委員 渡部 靖

担当職員 鈴木 浩一

担当職員感想 世界遺産講座は東分館においてここ何年か継続し実施してきましたが、講師が変わったことから一部の参加者から以前と講座内容に違いがあることを指摘されました。この講座はリピーターも多いことから、このような場合十分に講師と事前に調整することが大事だと思いました。

参加者感想 ○特に建築様式の説明が大変分かりやすく良かった。今までの旅行先で見てきたものが、大きな流れの中で整理できました。今回も個々の世界遺産のお話しだと思っていましたが、「世界遺産の見方」講座でしたが、とても興味深いお話しでした。ありがとうございました。

緑 分 館

市民講座	首都圏・多摩地域の地震災害を考える
------	-------------------

目 的 関東大震災等過去の地震災害及び多摩地域の地震と地形・地質を学ぶことで防災意識の醸成に資する。

日 程 2月5日（日）、19日（日）いずれも午前10時から正午まで

講 師 石山 達也さん（東京大学地震研究所 准教授）

場 所 公民館緑分館 学習室A・B

参 加 費 無料

募集方法 市報1月1日号、月刊こうみんかん1月号、ポスター、チラシ、市HP等 申込多数のときは抽選

対 象 市内在住、在勤、在学の方

人 数

募集	30人
応募	18人
受講	16人（男性9人、女性7人）
延べ参加者	32人

担当企画実行委員 赤尾 八朗、大蔵 芳夫

担当職員 山崎 敬広

参加者感想

- トルコ・シリアの地震が発生して、前回より身近に感じられて、内容が非常にわかりました。ありがとうございました
- 立川断層のことが気になっていたので、参加して良かったです。
- これからも良い企画をお願いします。
- 大変参考になりました。ありがとうございました。
- 活断層の仕組みや種類を知ることが出来て、私たちも素人ながら意識していかなければならないと思いました。どうもありがとうございました。
- トルコ地震もあり、時宜を得た講義内容だった。ありがとうございました。
- 地震のメカニズムの話が主流でしたが、大変勉強になりました。
- 専門的で難しかったですが、濃い内容でした。ありがとうございました。

緑 分 館

市民講座	“武蔵野” 推し活プロジェクト！ ～故郷 小金井を文学で学ぶ～
------	------------------------------------

- 目 的** 小金井周辺の土地について文学の視点から学ぶことで、知見を広げる。
- 日 程** 2月25日（土）、3月4日（土）、11日（土）いずれも午後2時から4時まで
- 講 師** 土屋 忍さん（武蔵野大学文学部日本文学文化学科 教授）
- 場 所** 公民館緑分館 学習室A・B
- 参 加 費** 無料
- 募集方法** 市報1月15日号、月刊こうみんかん1月号、ポスター、チラシ、市HP、ツイッター 申込多数のときは抽選
- 対 象** 市内在住、在勤、在学の方
- 人 数** 募集 30人
応募 32人
受講 30人（男性9人、女性8人、不明7人）
延べ参加者 76人
- 担当企画実行委員** 赤尾 八朗、荻込 美津代、後藤 愛子、宮本 一
- 担当職員** 田中 響
- 参加者感想**
- 3週にわたってありがとうございました。とても楽しい時間を過ごせました。
 - 続編期待しています。
 - 「この公民館ならではの」の着眼点で学ぶことができたのがよかった。
 - 30年近く住んでいる小金井の歴史や文学にふれることが出来て、より愛着が増しました。大学の先生のお話を身近で聞けてとても楽しい時間でした。またの開講を是非！
 - 武蔵野夫人を映画で見たことがあります。講座をうけて、背景等を知り又違った角度から知り、大変有意義な時間をありがとうございました。

貫井北分館

市民講座	一般教養や専門的知識 これからのエネルギーと私たちの生活
------	---------------------------------

目 的 再生可能で環境にやさしいエネルギー開発の現状を知り、環境やエネルギーと経済活動や個々の生活との関連を考える

日程・内容・講師

回	日程	内 容	講 師
1	11/7	私たちの未来を支える環境にやさしいエネルギーシステム (1)	池上 貴志 さん (東京農工大学大学院 工学 研究院 准教授、小金井市環 境審議会会長)
2	11/14	私たちの未来を支える環境にやさしいエネルギーシステム (2)	
3	11/21	経済学から考える未来のエネルギーと私たちの生活	佐藤 一光 さん (東京経済大学 経済学部 准教授)
4	11/28	財政学から考える未来のエネルギーと私たちの生活	

※いずれも月曜日、午前10時から正午まで

場 所 公民館貫井北分館 学習室A・B

募集方法 市報10月1日号、チラシ、ポスター、市HP、貫井北センターHP
貫井北分館ツイッター、多数抽選 往復はがきまたはメール

対 象 市内在住・在勤・在学の方

人 数 募集 20人 応募 17人 受講 17人 (男性13人、女性4人)
延べ参加者 54人

担当企画実行委員 岡村 寛美、原 幸恵

担当職員 伊藤 智代子

担当職員感想 30歳代から70歳代まで幅広い年代の方々が受講。また保育付き講座で、2歳児2人の保育を、きたまち保育サポーターが担当。

参加者感想

- 普段ニュース等で聞く言葉で、エネルギーに関しては理解できない言葉が沢山ありました。分かり易い説明で、これからはテレビ・ラジオ・新聞等エネルギーのニュースを見聞きする時、理解することが多くなりそうで楽しみが増えます。
- 1、2回目では、エネルギーの定義や意味をあらためて理解できてよかった。3、4回目では、世界的な脱炭素社会の現状と取り組みについて理解しましたが、技術と経済性で進めていくことは、本当に難しい。個人的には、再エネ意識を持って、省エネを実施していきます
- 子どもも見て頂きました。ありがとうございました。少し難しいかと身構えていましたが、丁寧にお話してくださり、よく内容がわかりました。

貫井北分館

市民講座	地域福祉のための講座 きたまちカフェ～認知症を予防しよう～
------	----------------------------------

目 的 認知症の方やその家族が気軽に相談でき、安心して過ごせる場を作ること。地域の住民がだれでも参加でき、あたたかい交流が生まれる場を作ること。

日 程 4月4日から3月6日までの毎月第1月曜日
※1月除く（全11回） 午前10時から正午まで

内 容 おしゃべり、情報交換、麻雀、囲碁など

募集方法 市報4月1日号、7月1日号、10月1日号、1月15日号、月刊こうみんかん、チラシ、ポスター、市HP、貫井北センターHP、集会施設にチラシ設置、自由参加、当日直接

人 数 下表のとおり

日程	参加者	サポーター	日程	参加者	サポーター	日程	参加者	サポーター
4/4	5		5/2	6		6/6	6	
7/4	10		8/1	5	1	9/5	8	1
10/3	13	1	11/7	9	1	12/5	10	1
2/6	19	3	3/6	18	2			

延べ参加者 109人（男性44人、女性65人）

延べサポーター10人

担当企画実行委員 閑野 寿幸、塚田 昭子、原 幸恵、森 千尋

担当職員 野津 幸代

担当職員感想 コロナでしばらく館内のカフェができませんでしたが、飲食なし、時間短縮をして再開しました。徐々に参加者が増えとても賑やかになりました。サポーターさんはまだまだ少ないですが、少しずつ戻ってきてれています。企画実行委員さんのご協力のもと、今後も継続していきたいです。

企画実行委員感想

- 麻雀卓が増えて、たくさんの方が楽しめて良かった。頭の体操に良いようです。
- 折り紙でコマを作ったけれど、もっといろいろ折れれば良いです。
- 人がいっぱい来てビックリしました。

貫井北分館

市民講座	地域福祉のための講座 ひとりで悩まず、 みんなで認知症介護の座談会
------	--------------------------------------

目 的 認知症の介護者が地域で孤立しないように、参加者同士情報共有し、つながる場をつくる。

日 程 4月21日から3月16日までの毎月第3木曜日
(全12回) 午前10時から正午まで
※10月から12月までは午前9時半から11時半まで

内 容 認知症の介護に関する話し合い

講 師 松尾 隆義さん (臨床心理士)

募集方法 市報 (3カ月に一度、1日号)、チラシ、市HP、貫井北センターHP、
貫井北分館ツイッター 申込順 電話、メールまたは直接

人 数 下表のとおり

日程	受講	サポーター	日程	受講	サポーター	日程	受講	サポーター
4/21	4		5/19	4		6/16	5	
7/21	4	1	8/18	4	1	9/15	4	1
10/20	5	1	11/17	3	1	12/15	6	1
1/19	6	1	2/16	5		3/16	5	

延べ参加者 55人 (男性3人・女性52人)

延べサポーター 7人

担当企画実行委員 閑野 寿幸、原 幸恵、森 千尋

担当職員 野津 幸代

担当職員感想 介護している方同士、つながりができました。

参加者感想

- 座談会に来て良かったです。認知症カフェは当事者向けで、当事者と一緒に体操をして、介護をしている人の意見交換する場所がありませんでした。ここは同じような立場の人がいて、他の方の介護の話を聞き、自分も話をすることができました。
- 初めて来るまでは、私が行ってどうなんだろう…と不安に思っていました。居場所ができて、肩の力を抜くことができました。
- 周りの人に言えないことを話せて、励みになりました。共感をし、共感してもらえることで、ストレス解消になり、介護頑張ろうと思いました。

貫井北分館

市民講座	地域福祉のための講座 ぬくいきた認知症サポーター講座
------	-------------------------------

目 的 認知症の当事者や、家族の介護をしている介護者に寄り添えるサポーターを養成し、認知症介護家族の生活を地域で支える活動へつなげる。

日程・内容・講師

回	日程	内容	講師
1	9/12	認知症サポーター養成講座	高橋 美樹さん（小金井にし地域包括支援センター）
2	9/26	小金井市の介護保険の話	小金井市介護福祉課
3	10/17	成年後見人制度を学ぶ	石塚 勝敏さん（小金井市社会福祉協議会）
4	10/31	認知症介護者の体験談 今後の活動を考える	

※いずれも月曜日、午前10時から正午まで

場 所 公民館貫井北分館 学習室C・D

募集方法 市報8月1日号、ポスター、チラシ、市HP、貫井北センターHP、貫井北分館ツイッター、申込順 電話または貫井北分館窓口へ

人 数 募集 12人 応募 11人
受講 11人（男性 1人、女性 10人） 延べ参加者 43人

担当企画実行委員 塚田 昭子、土屋 文雄

担当職員 野津 幸代

担当職員感想 今年で7回目の講座です。参加者のみなさんととても熱心に講義を聞いていました。今後の活動につなげていきたいです。

参加者感想

- 認知症サポーターの養成講座ですが、介護保険、成年後見人制度なども学べ、有意義な講座でした。これからもさらにステップアップの学習をしていけたらと思います。
- 認知症の方に、実際どのような声がけをすればよいか教えていただいたのがとても参考になりました。様々な制度は難しく覚えられませんでした。こういう制度があると知れたことは今後も役に立つと感じています。様々な集まりや制度で困っている人のサポートをしていくことは、これから親も自分も年を取っていくなかで心強く思います。みんなが知って活用していける社会になるよう、私も微力ながらも自分ができることをやっていきたいと思っています。